

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和5年2月21日 10:35～11:40

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職

実用炉監視部門

菊川管理官補佐

専門検査部門

岡村検査官

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部防災安全グループ グループマネージャー 他4名

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他2名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ 副長 他1名

原子力エネルギー協議会

副長

5. 要 旨

東京電力から、発電所の意思決定及び現場活動に関する評価指標案の検討状況について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、基準のBを合格とするのか不合格とするのか、まずBをイメージしてからA及びCを決めると良いのではないかとコメントした。また、原子力規制庁から次々回以降の訓練等のあり方の意見会合において、本指標案を議論していくことを申し伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 発電所の「意思決定」及び「現場活動」に関する指標案（ドラフト）  
（東京電力ホールディングス株式会社、関西電力株式会社）